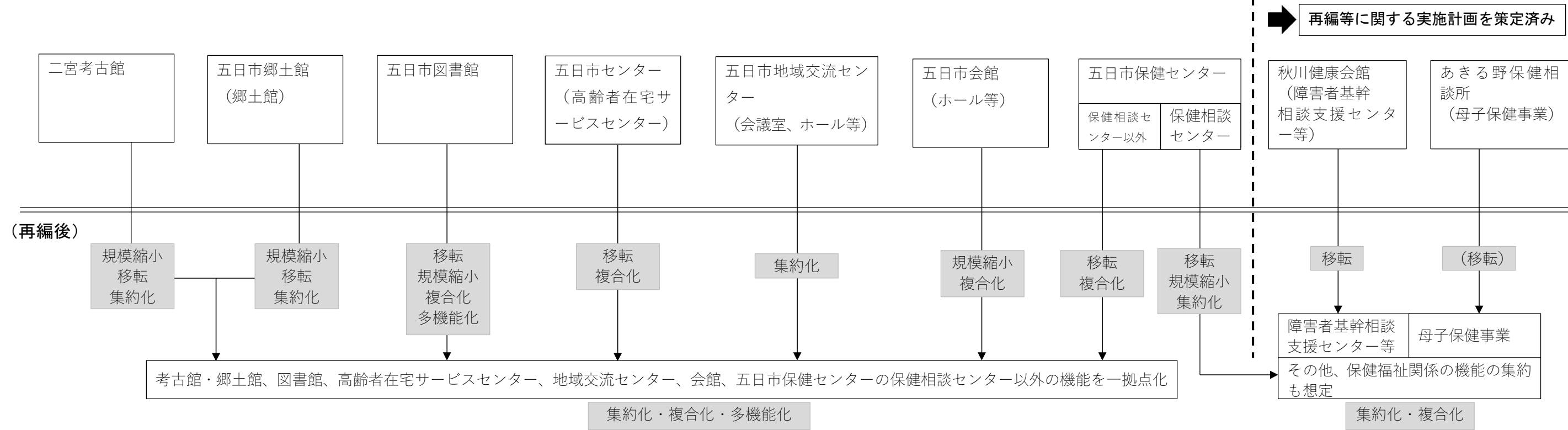


二宮考古館、五日市郷土館、五日市図書館、五日市センター、五日市地域交流センター、五日市会館、五日市保健センターの再編等の考え方

1 概要

- ・二宮考古館と五日市郷土館（郷土館）を規模縮小・移転、集約化する方針を定めます。
  - ・上の施設と五日市図書館、五日市センター、五日市地域交流センター、五日市会館、五日市保健センターの保健相談センター以外の機能（子育てひろば）を1拠点に集約化・複合化・多機能化する方針を定めます。
  - ・五日市保健センターの保健相談センター機能は、秋川健康会館とあきる野保健相談所等を集約化・複合化した施設に集約化する方針を定めます。
  - ・五日市郷土館（郷土館）と同様に、五日市郷土館（旧市倉家住宅）も移転し、保存する方針を定めます。
- ※ 二宮考古館、五日市郷土館（郷土館）、五日市図書館、五日市センター、五日市地域交流センター、五日市会館、五日市保健センターの保健相談センター以外の機能を集約化・複合化・多機能化する位置と五日市郷土館（旧市倉家住宅）を保存する位置は、「現五日市地域交流センター、現五日市会館及び現五日市保健センターの敷地」を想定しています。
- ※ 集約化・複合化・多機能化する施設は、現在の建物の活用・転用、新たな建物の整備を想定しています。
- ※ 二宮考古館、五日市郷土館（郷土館）については、機能を資料保管機能と社会教育機能に整理し、資料保管機能（機能分散・不足する場合）については別途検討します。
- ※ 二宮考古館、五日市郷土館（郷土館）、五日市図書館、五日市センターの建物は廃止する予定です。
- ※ 市役所五日市出張所の機能は、現状維持しながら、五日市地域交流センターなどの施設全体の再編等に合わせ、位置を検討します。

2 再編等のイメージ



- ※ 二宮考古館、五日市郷土館（郷土館）、五日市図書館、五日市センター、五日市地域交流センター、五日市会館、五日市保健センターの保健相談センター以外の機能を集約化・複合化・多機能化する位置と五日市郷土館（旧市倉家住宅）を保存する位置は、「現五日市地域交流センター、現五日市会館及び現五日市保健センターの敷地」を想定しています。
- ※ 施設は、現在の建物の活用・転用、新たな建物の整備を想定しています。

3 再編等の方向性の内容（施設ごと）

個別施設計画で示す再編等の方向性の選択肢のそれぞれについて、「①床面積の縮減の度合い」「②利便性への影響の度合い」「③機能重複の解消の度合い」「④コストの低減の度合い」「⑤避難所、投票所などの重要な機能への影響の度合い」を評価し、採用する再編等の方向性を選定しました。

施設名称	個別施設計画を踏まえた再編等の方向性		再編等に関する実施計画		再編等の方向性の内容
	選択肢 1	選択肢 2	採用した再編等の方向性	同時に行う対応	
二宮考古館	規模縮小・移転（機能分散）、集約化（機能を、資料保管機能と社会教育機能に整理し、資料保管機能は移転し規模縮小・集約化、社会教育機能は規模縮小し集約化）	規模縮小（機能分散）、集約化（機能を、資料保管機能と社会教育機能に整理し、資料保管機能は移転し規模縮小・集約化、社会教育機能のみ現所在にて規模縮小）	規模縮小・移転(機能分散)、集約化	廃止	「規模縮小・移転（機能分散）、集約化」が「規模縮小（機能分散）、集約化」と比較して、「②利便性への影響の度合い」の評価は低かったものの、「①床面積の縮減の度合い」「③機能重複の解消の度合い」の評価が高かったことから、再編等の方向性として採用しました。 ※ 資料保管機能（機能分散・不足する場合）については別途検討します。 ※ 二宮考古館の建物は廃止する予定です。

施設名称	個別施設計画を踏まえた		再編等に関する実施計画		再編等の方向性の内容
	再編等の方向性		採用した	同時に行う対応	
	選択肢 1	選択肢 2	再編等の方向性		
五日市郷土館（郷土館）	規模縮小・移転（機能分散）、集約化 （機能を、資料保管機能と社会教育機能に整理し、資料保管機能は移転し規模縮小・集約化、社会教育機能は規模縮小し集約化）	規模縮小（機能分散）、集約化 （機能を、資料保管機能と社会教育機能に整理し、資料保管機能は移転し規模縮小・集約化、社会教育機能のみ現所在にて規模縮小）	規模縮小・移転(機能分散)、集約化	廃止	「規模縮小・移転（機能分散）、集約化」が「規模縮小（機能分散）、集約化」と比較して、「①床面積の縮減の度合い」「②利便性への影響の度合い」の評価が高かったことから、再編等の方向性として採用しました。 ※ 資料保管機能（機能分散・不足する場合）については別途検討します。 ※ 五日市郷土館（郷土館）の建物は、廃止する予定です。
五日市郷土館（旧市倉家住宅）	保存 （文化財として適切に保存）		保存	－	個別施設計画を踏まえ、「保存」を再編等の方向性とししました。
五日市図書館	移転・規模縮小・複合化・多機能化 （維持管理コストの縮減の方向性を踏まえ、機能面からは多機能化、建物更新時には規模縮小し近隣施設と移転・複合化）	規模縮小・多機能化 （維持管理コストの縮減と大規模施設の有効活用の方方向性を踏まえ、機能面からは多機能化、建物更新時には規模縮小）	移転・規模縮小・複合化・多機能化	廃止	「移転・規模縮小・複合化・多機能化」が「規模縮小・多機能化」と比較して、「①床面積の縮減の度合い」「②利便性への影響の度合い」の評価が高かったことから、再編等の方向性として採用しました。 ※ 五日市図書館の建物は、廃止する予定です。
五日市センター	現状維持 （現状の機能・立地・建物を維持し、適切に更新）	移転・複合化 （規模縮小し移転・複合化）	移転・複合化	廃止	「移転・複合化」が、「現状維持」と比較して、「④コストの低減の度合い」の評価が低かったものの、「①床面積の縮減の度合い」「②利便性への影響の度合い」の評価が高かったことから、再編等の方向性として採用しました。 ※ 五日市センターの建物は、廃止する予定です。
五日市地域交流センター	集約化 （近隣施設と機能を集約化）	－	集約化	－	個別施設計画を踏まえ、「集約化」を再編等の方向性とししました。
五日市会館	移転・規模縮小・集約化 （近隣施設と機能を集約化）	規模縮小・複合化（新建物） （近隣施設との複合化）	規模縮小・複合化	－	「規模縮小・複合化」が「移転・規模縮小・集約化」と比較して、「④コストの低減の度合い」の評価が低かったものの、「②利便性への影響の度合い」「③機能重複の解消の度合い」の評価が高かったことから、再編等の方向性として採用しました。 ※ 複合化の手法（新建物とするかなど）は別途検討します。
五日市保健センター	移転・規模縮小・集約化・複合化 （分散している同種機能を集約化・複合化）	－	移転・規模縮小・集約化・複合化	－	個別施設計画を踏まえ、「移転・規模縮小・集約化・複合化」を再編等の方向性とししました。

■再編等に関する実施計画

令和7年11月

施設棟番号	C-5	所管部署	教育部	生涯学習推進課	文化財係
施設分類	大分類	社会教育系施設	中分類	博物館等	小分類
施設名称	二宮考古館				
所在地	あきる野市二宮1151			敷地面積(㎡)	991.74
延床面積(㎡)	396.57	構造	W造	建築年度	平成元
				経過年度	36

計画期間	令和8（2026）年度～令和17（2035）年度
①事業の概要	設置根拠：あきる野市郷土資料展示等施設の設置及び管理に関する条例 設置目的：市の歴史、民俗、自然等に関する資料を収集し、保管し、展示して市民の利用に供し、その教養、学術及び文化の発展に寄与する。 対 象 者：全年齢 サービスの概要：市の歴史、民俗、自然等に関する資料を収集し、保管し、展示して市民の利用に供する事業
②事業の現状	・来館者は、市外からの来館者が6割程度を占めており、住民だけに事業を展開するのではなく、市外からの訪問者への事業展開も求められている。 ・会計年度任用職員（事務）による運営が続いており、来館者からの専門的な質問への回答等は、五日市郷土館を通じて対応している。 ・温湿度管理設備はないため、繊細な紙や木製品などの資料は収蔵できない。 ・年間約140万円の土地借上料を支出している。
③将来的な事業のあり方（方向性）	・観光との関係が深いことから、五日市郷土館と統合し、五日市エリアでの施設再編成を進める方向で考える（あきる野市第二次総合計画2章3豊かな観光資源・自然文化の保全と魅力の創出）。 ・夏休みの体験教室は人気のある事業であり、市民からのニーズが高い。この需要を取り込んだ社会教育機能をもつ施設は、市内に必要と考える。 ・施設規模の縮小分はICT器材を利用した、自宅及び学校での郷土学習の促進・強化のためのデジタルアーカイブ整備によって補填、より新しい学習へつなげる方向で考える（あきる野市第二次総合計画第5章 教育・文化・スポーツ分野第4節 個性を生かす学校教育の充実）（あきる野市教育基本計画第3次計画）（あきる野市生涯学習推進計画 あきる野学びプラン4）。
④事業の課題	・「公共施設等個別施設計画」の劣化状況調査では劣化度はそれほど高くないが、繊細な文化財の展示・収蔵には対応できない。 ・専門的な人員が不足している。 ・デジタルアーカイブが整備されていない。 ・敷地が借地である（借地料の支出が必要）。

⑤個別施設計画における施設の再編等の方向性（令和3年6月時点）	再編等の方向性	規模縮小・移転（機能分散）、集約化／規模縮小（機能分散）、集約化						
	保全の方向性及び実施時期の目安	大規模改修	—	建替え 又は 長寿命化改修	令和16	長寿命化後の建替え	—	（参考）建替え時 築年数
⑥再編モデル案検討のための施設特性整理	利用対象	市民一般			備考	・市外からの来館者のほうが多く、全体の6割程度を占めている。		
	需要傾向	利用需要変化なし				・コロナ禍のため利用者が減少したが、令和4年度からほぼコロナ禍前の入館者数に戻ってきている。		
	規模適正度	スペースが不足している				・館の収蔵庫が狭いため、ほかの場所に分散して収蔵している。		
	建物活用	多目的利用検討可能	×			・同事業を実施している五日市郷土館及び五日市地域交流センター等の施設との集約化・複合化により、関連事業サービスを一体的に提供することができることから、サービス水準が向上すると期待される。		
		複合化・集約化によるサービス水準の向上が期待される	○					
		設置目的と異なる使用状況あり	×					
		単独機能での建物利用が望ましい	×					
		賃貸借物件での運営も可能（市有物件での運営は必須ではない）	×					
		投票所機能	×					
		避難所機能	×					
	敷地所有	全借地（有償）						
	都市計画法規制	市街化区域						
利用圏域	その他							
広域化可能性	検討不可							
機能重複度	利用圏域に同種・類似施設がある（民間施設）	×						
	利用圏域に同種・類似施設がある（国・都・市施設）	○						
	利用圏域に同種・類似施設はない	×						
⑦施策との関連性	関連施策	第2次総合計画「社会教育の推進」（第5章・第5節①文化・スポーツ・レクリエーション活動の拠点施設の充実） 教育基本計画「生涯を通じて学び活躍できる環境の整備」（取り組み目標3、基本施策3社会教育の拠点施設の適正な管理） 学びプランⅣ「学びの環境をつくる」（Ⅳ・Ⅰ・62 五日市郷土館・二宮考古館の適切な維持管理）						
	説明	各種計画に掲載されているとおり、社会教育及び芸術文化活動の推進を図る拠点として位置付けられている。						
⑧再編等の方向性及び修繕・改修等の考え方	【方向性】 規模縮小・移転（機能分散）、集約化				（同時に行う対応） 廃止			
	【再編方針】 ・二宮考古館・五日市郷土館（郷土館）を規模縮小・移転、集約化し、この施設と、五日市図書館、五日市センター、五日市地域交流センター、五日市会館、五日市保健センターの保健相談センター以外の機能等を1拠点に集約化・複合化・多機能化				【修繕・改修】 ・再編するまでの間、施設の老朽化や定期的な点検・診断結果に基づき、実施する。			
⑨計画実行のスケジュール	想定実施年度	想定対策内容			想定実施年度	想定対策内容		
	令和8年度以降	・再編等の方向性に沿った具体的手法の検討			令和8年度以降	・未定 （再編等の方向性に沿った具体的手法による）		
⑩計画実行に当たっての留意事項	・二宮考古館・五日市郷土館（郷土館）、五日市図書館、五日市センター、五日市地域交流センター、五日市会館、五日市保健センターの保健相談センター以外の機能を集約化・複合化・多機能化する位置は、「現五日市地域交流センター、現五日市会館及び現五日市保健センターの敷地」を想定 ・市役所五日市出張所の機能は、現状維持しながら、五日市地域交流センターなどの施設全体の再編等に合わせ、位置を検討 ・集約化・複合化・多機能化する施設は、現在の建物の活用・転用、新たな建物の整備を想定 ・資料保管機能（機能分散・不足する場合）については別途検討 ・二宮考古館の建物は廃止する予定							
⑪計画実行後の課題								

■再編等に関する実施計画

令和7年12月

施設棟番号	C-6	所管部署	教育部	生涯学習推進課	文化財係
施設分類	大分類	社会教育系施設	中分類	博物館等	小分類
施設名称	五日市郷土館（郷土館）				
所在地	あきる野市五日市920-1			敷地面積(㎡)	1,232.00
延床面積(㎡)	1,020.25㎡	構造	S造・RC造	建築年度	昭和55
				経過年度	45

計画期間	令和8（2026）年度～令和17（2035）年度
①事業の概要	設置根拠：あきる野市郷土資料展示等施設の設置及び管理に関する条例 設置目的：市の歴史、民俗、自然等に関する資料を収集し、保管し、展示して市民の利用に供し、その教養、学術及び文化の発展に寄与する。 対 象 者：全年齢 サービスの概要： ・市の歴史、民俗、自然等に関する資料を収集し、保管し、展示して市民の利用に供する事業 ・文化財係としての事務
②事業の現状	・令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う公共施設の利用制限による臨時休館等により利用者が減少したが、徐々に増加傾向にあり、コロナ禍以前の6割程度まで回復している。 ・来館者の市内外の割合については、おおむね半々となっており、住民だけに事業を展開するのではなく、市外からの訪問者への事業展開も求められている。 ・秋川市と五日市町の合併前に建設されているため、秋川地区からのアクセスが悪い。 ・年間約160万円の土地借上料を支出している。 ・展示室内の空調管理が難しい。
③将来的な事業のあり方（方向性）	・観光との関係が深いことから、二宮考古館と統合し、五日市地域交流センター等との施設再編を進める方向で考える（あきる野市第二次総合計画2章3豊かな観光資源・自然文化の保全と魅力の創出）。 ・将来的には登録博物館又は博物館相当施設への指定を視野に入れ、文化財を適切に展示・保存・管理するための温湿度管理や照度管理ができる展示室及び収蔵庫を整備できると良いと考える。 ・施設規模の縮小分はICT器材を利用した、自宅及び学校での郷土学習の促進・強化のためのデジタルアーカイブ整備によって補填、より新しい学習へつなげる方向で考える（あきる野市第二次総合計画第5章 教育・文化・スポーツ分野第4節 個性を生かす学校教育の充実）（あきる野市教育基本計画第3次計画）（あきる野市生涯学習推進計画 あきる野学びプラン4）。
④事業の課題	・専門的な人員が不足している。 ・収蔵スペースが不足している。 ・改修中の対応方法（休館にするのか・問合せ対応・会計年度任用職員） ・デジタルアーカイブが整備されていない。 ・敷地の一部が借地である（借地料の支出が必要）。

⑤個別施設計画における施設の再編等の方向性（令和3年6月時点）	再編等の方向性	規模縮小・移転（機能分散）、集約化／規模縮小（機能分散）、集約化							
	保全の方向性及び実施時期の目安	大規模改修	令和8	建替え 又は 長寿命化改修	令和28	長寿命化後の建替え	—	（参考）建替え時築年数	66
⑥再編モデル案検討のための施設特性整理	利用対象	市民一般			備考	・市外からの来館者も多く、全体の約半数を占めている。			
	需要傾向	利用需要変化なし				・来館者はコロナ禍で減少し、コロナ禍後は徐々に増加しているものの、コロナ禍前の水準には戻っていない状況である。収蔵物は、断続的に資料寄贈寄託があり増加。			
	規模適正度	スペースが不足している				・郷土館の収蔵庫が狭いため、ほかの施設に分散して収蔵している。			
	建物活用	多目的利用検討可能	×			・同事業を実施している五日市郷土館及び五日市地域交流センター等との集約化・複合化により、関連事業サービスを一体的に提供することができることから、サービス水準が向上すると期待される。			
		複合化・集約化によるサービス水準の向上が期待される	○						
		設置目的と異なる使用状況あり	×						
		単独機能での建物利用が望ましい	×						
		賃貸借物件での運営も可能（市有物件での運営は必須ではない）	×						
		投票所機能	×						
		避難所機能	×						
	敷地所有	一部借地（有償）							
	都市計画法規制	市街化区域				・用途：第一種低層住居専用地域			
	利用圏域	その他				・郷土館での現地学習に加えて、オンラインの活用も拡充していく方向である。収蔵施設として1か所は必要である。			
	広域化可能性	検討不可				・近隣市町村がそれぞれ博物館や類似施設を有しており、広域連携による設置は調整が困難なため。			
	機能重複度	利用圏域に同種・類似施設がある（民間施設）	×			・二宮考古館で実施している事業を五日市郷土館で実施することは可能である。（集約化）			
		利用圏域に同種・類似施設がある（国・都・市施設）	○						
		利用圏域に同種・類似施設はない	×						

⑦施策との関連性	関連施策	第2次総合計画「社会教育の推進」（第5章・第5節①文化・スポーツ・レクリエーション活動の拠点施設の充実） 教育基本計画「生涯を通じて学び活躍できる環境の整備」（取り組み目標3、基本施策3社会教育の拠点施設の適正な管理） 学びプランⅣ「学びの環境をつくる」（Ⅳ・Ⅰ・62 五日市郷土館・二宮考古館の適切な維持管理）							
	説明	各種計画に掲載されているとおり、社会教育及び芸術文化活動の推進を図る拠点として位置付けられている。							

⑧再編等の方向性及び修繕・改修等の考え方	【方向性】				（同時に行う対応）				
	（郷土館）規模縮小・移転（機能分散）、集約化				廃止				
	（旧市倉家住宅）保存				—				
	【再編方針】				【修繕・改修】				
・二宮考古館・五日市郷土館（郷土館）を規模縮小・移転、集約化し、この施設と、五日市図書館、五日市センター、五日市地域交流センター、五日市会館、五日市保健センターの保健相談センター以外の機能等をも1拠点に集約化・複合化・多機能化					・再編するまでの間、施設の老朽化や定期的な点検・診断結果に基づき、実施する。				
・五日市郷土館（郷土館）と同様に、五日市郷土館（旧市倉家住宅）も移転し、保存									

⑨計画実行のスケジュール	想定実施年度	想定対策内容			想定実施年度	想定対策内容		
	令和8年度以降	・再編等の方向性に沿った具体的手法の検討			令和8年度以降	・未定 （再編等の方向性に沿った具体的手法による）		

⑩計画実行に当たっての留意事項	・二宮考古館・五日市郷土館（郷土館）、五日市図書館、五日市センター、五日市地域交流センター、五日市会館、五日市保健センターの保健相談センター以外の機能を集約化・複合化・多機能化する位置と五日市郷土館（旧市倉家住宅）を保存する位置は、「現五日市地域交流センター、現五日市会館及び現五日市保健センターの敷地」を想定 ・集約化・複合化・多機能化する施設は、現在の建物の活用・転用、新たな建物の整備を想定 ・資料保管機能（機能分散・不足する場合）については別途検討 ・五日市郷土館（郷土館）の建物は、廃止する予定							

⑪計画実行後の課題								
-----------	--	--	--	--	--	--	--	--

■再編等に関する実施計画

令和7年12月

施設棟番号	C-3	所管部署	教育部	図書館	五日市図書館係
施設分類	大分類	社会教育系施設	中分類	図書館	小分類
施設名称	五日市図書館				
所在地	あきる野市五日市368			敷地面積(㎡)	1,150.55
延床面積(㎡)	822.83	構造	RC造	建築年度	昭和53
				経過年度	47

計画期間	令和8(2026)年度～令和17(2035)年度
①事業の概要	設置根拠：図書館法、あきる野市図書館設置条例 設置目的：健全な発達を図り、市民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。 対 象 者：全市民 サービスの概要：図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とした事業
②事業の現状	・個人登録者数は、令和3年度から令和6年度までの4年間で約6%（令和3年度1,866人→令和6年度1,976人）増加している。 ・個人貸出冊数は、令和3年度と令和6年度を比較すると、約8%（令和3年度58,678冊→令和6年度53,758冊）減少している。 ・来館者数は、令和3年度30,728人、令和6年度37,992人と、コロナ過に比べ約24%増加している。
③将来的な事業のあり方（方向性）	・移転・規模縮小し、二宮考古館・五日市郷土館（郷土館）、五日市図書館、五日市センター、五日市地域交流センター、五日市会館、五日市保健センターの保健相談センター以外の機能等を1拠点に集約化・複合化・多機能化する。 ・再編するまでの間、施設の老朽化や定期的な点検・診断結果に基づき、修繕・改修を実施する。
④事業の課題	・歴史的・地域的背景から、五日市地区の図書館として、継続していく必要があるが、建築後、47年が経過し、建物自体の老朽化が課題となっている。 ・平成23年に行った耐震診断では、安全面に問題はなかったが、その後14年が経過しているため、耐久性等の調査を行うとともに、利用状況や周辺施設の状況等も踏まえ、今後の施設の在り方等について検討する必要がある。

⑤個別施設計画における施設の再編等の方向性（令和3年6月時点）	再編等の方向性	移転・規模縮小・複合化・多機能化／規模縮小・多機能化							
	保全の方向性及び実施時期の目安	大規模改修	令和8	建替え 又は 長寿命化改修	令和28	長寿命化後の建替え	—	(参考)建替え時 築年数	68
⑥再編モデル案 検討のための施設 特性整理	利用対象	広域利用（複数自治体）			備考	・西多摩広域行政圏だけでなく、八王子市、昭島市とも広域利用を実施している。			
	需要傾向	利用需要変化なし				・コロナ禍での制限が解除され徐々に利用が戻っており、今年度は更なる回復が見込まれる。			
	規模適正度	規模適正				・利用者数及び蔵書数からも施設の規模については、適正である。			
	建物活用	多目的利用検討可能		×		・建築後、47年が経過し、建物自体の老朽化が課題となっているため、五日市地区の図書館として継続していくためには、他施設との複合化・集約化も検討する必要がある。			
		複合化・集約化によるサービス水準の向上が期待される		○					
		設置目的と異なる使用状況あり		×					
		単独機能での建物利用が望ましい		×					
		賃貸借物件での運営も可能（市有物件での運営は必須ではない）		×					
		投票所機能		×					
		避難所機能		×					
	敷地所有	市有地							
	都市計画法規制	市街化区域				・用途地域：第一種低層住居専用地域			
	利用圏域	広域（複数自治体）				・幼児から高齢者まで利用層も広いため、広い市域に現在の1中央館、3地域館は最低限必要である。今後、移動図書館あるいは宅配、電子図書館などの検討も必要である。			
広域化可能性	すでに広域化している			・広域利用者と市民の間にサービス内容に差をつける。もしくは、負担金制度などを検討したい。					
機能重複度	利用圏域に同種・類似施設がある（民間施設）		×	・近隣に同種・類似施設はない。					
	利用圏域に同種・類似施設がある（国・都・市施設）		×						
	利用圏域に同種・類似施設はない		○						
⑦施策との関連性	関連施策	あきる野学びプラン4 / あきる野市教育基本計画（第3次計画） IV-1-59図書館施設・設備・サービスの充実							
	説明	あきる野学びプラン4「市民の利用しやすい施設運営」、あきる野市教育基本計画（第3次計画）「社会教育の拠点施設の適正な管理」に位置付けられている必要な施設である。							
⑧再編等の方向性 及び修繕・改修等の 考え方	【方向性】				（同時に行う対応）				
	移転・規模縮小・複合化・多機能化				廃止				
	【再編方針】				【修繕・改修】				
	・移転・規模縮小し、二宮考古館・五日市郷土館（郷土館）、五日市図書館、五日市センター、五日市地域交流センター、五日市会館、五日市保健センターの保健相談センター以外の機能を集約化・複合化・多機能等を1拠点に集約化・複合化・多機能化				・再編するまでの間、施設の老朽化や定期的な点検・診断結果に基づき、実施する。				
⑨計画実行のスケジュール	想定実施年度	想定対策内容			想定実施年度	想定対策内容			
	令和8年度以降	・再編等の方向性に沿った具体的手法の検討			令和8年度以降	・未定 （再編等の方向性に沿った具体的手法による）			
⑩計画実行に当たっての留意事項	・二宮考古館・五日市郷土館（郷土館）、五日市図書館、五日市センター、五日市地域交流センター、五日市会館、五日市保健センターの保健相談センター以外の機能を集約化・複合化・多機能化する位置は、「現五日市地域交流センター、現五日市会館及び現五日市保健センターの敷地」を想定 ・市役所五日市出張所の機能は、現状維持しながら、五日市地域交流センターなどの施設全体の再編等に合わせ、位置を検討 ・集約化・複合化・多機能化する施設は、現在の建物の活用・転用、新たな建物の整備を想定 ・五日市図書館の建物は、廃止する予定								
⑪計画実行後の課題									



■再編等に関する実施計画

令和7年12月

施設棟番号	G－3		所管部署		健康福祉部	高齢者支援課		高齢者支援係	
施設分類	大分類	保健・福祉施設		中分類	高齢福祉施設	小分類			
施設名称	五日市センター								
所在地	あきる野市館谷台１７					敷地面積(㎡)		2, 740. 22	
延床面積 (㎡)	542. 29		構造		ＲＣ造		建築年度	平成11	経過年度 26

計画期間	令和8(2026)年度～令和17(2035)年度														
①事業の概要	<p>設置根拠：老人福祉法、あきる野市高齢者在宅サービスセンターの設置及び管理に関する条例</p> <p>対象者：介護を必要としない高齢者</p> <p>設置目的：老人福祉法に基づく、老人福祉の増進を図るため、利用者に対し、センターでの事業を通じて、高齢者の心身機能の維持向上、社会的孤立感・閉じこもり・うつ等の解消、自立生活の助長、要介護状態への進行を予防することを目的とする。</p> <p>サービスの概要：高齢者生きがい活動支援通所事業（必須事業）に加え、自主事業であるげんき応援事業などの実施により、趣味・生きがい活動や食事サービス、各種教室・講座、体幹トレーニング、健康マージャンなどが行われている。</p>														
②事業の現状	<table><thead><tr><th>延べ利用者数</th><th>高齢者生きがい活動支援通所事業</th><th>げんき応援事業</th><th>委託料</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和5年度</td><td>1,852人</td><td>4,485人</td><td>15,498,000円</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>2,063人</td><td>4,797人</td><td>15,498,000円</td></tr></tbody></table> <p>指定管理者 医療法人財団 暁 令和5年4月1日から令和10年3月31日まで</p> <p>・利用者数は、新型コロナウイルス感染症による一時的な減少があったものの、自主事業の取組や高齢者人口の増加に伴う対象者の増加もあり、ここ数年増加傾向にある。</p>			延べ利用者数	高齢者生きがい活動支援通所事業	げんき応援事業	委託料	令和5年度	1,852人	4,485人	15,498,000円	令和6年度	2,063人	4,797人	15,498,000円
延べ利用者数	高齢者生きがい活動支援通所事業	げんき応援事業	委託料												
令和5年度	1,852人	4,485人	15,498,000円												
令和6年度	2,063人	4,797人	15,498,000円												
③将来的な事業のあり方（方向性）	<p>・当該施設は、自立した高齢者の心身機能の維持向上などを目的に事業を進めていることから、市の地域包括ケアシステムを構成する一つの施設として位置付けている。</p> <p>・今後、高齢者の増加が見込まれる中で、引き続き、当該施設の位置付けは、重要なものである。</p>														
④事業の課題	<p>・今後、高齢者の増加が見込まれる中、当該施設の需要へ対応していく必要がある。</p> <p>・全国的に不足する介護人材の状況を踏まえ、引き続き、その動向を注視しながら、指定管理者の候補者の選定をしていく必要がある。</p>														

⑤個別施設計画における施設の再編等の方向性（令和３年６月時点）	再編等の方向性		現状維持／移転・複合化							
	保全の方向性及び実施時期の目安		大規模改修	令和１１	建替え 又は 長寿命化改修	令和４１	長寿命化後の建替え	令和６１	(参考)建替え時 築年数	８０
⑥再編モデル案検討のための施設特性整理	利用対象	市民一般				備考	・介護を必要としない高齢者向け施設			
	需要傾向	利用需要上昇傾向					・高齢者の増加に伴い、今後さらに需要が上昇することが予想される。			
	規模適正度	規模適正					・定員超過による受入れ拒否などは発生していない。			
	建物活用	多目的利用検討可能		×			・指定管理施設であり、ほかのサービスと複合化する場合には配慮が必要である。			
		複合化・集約化によるサービス水準の向上が期待される		○						
		設置目的と異なる使用状況あり		×						
		単独機能での建物利用が望ましい		△						
		賃貸借物件での運営も可能（市有物件での運営は必須ではない）		×						
		投票所機能		×						
		避難所機能		×						
	敷地所有	市有地					・用途地域：近隣商業地域			
	都市計画法規制	市街化区域								
	利用圏域	その他								
	広域化可能性	検討不可					・日常生活圏域（西部圏域）			
機能重複度	利用圏域に同種・類似施設がある（民間施設）		×		・市内高齢者の介護予防のための施設であることから検討していない。					
	利用圏域に同種・類似施設がある（国・都・市施設）		×							
	利用圏域に同種・類似施設はない		○							
⑦施策との関連性	関連施策	第２次総合計画の重点施策（ｐ６４） 第９期あきる野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（ｐ４６）								
	説明	第２次総合計画の重点施策である高齢者のフレイル予防のために必要な施設である。								
⑧再編等の方向性及び修繕・改修等の考え方	【方向性】					（同時に行う対応）				
	移転・複合化					廃止				
	【再編方針】					【修繕・改修】				
	・二宮考古館・五日市郷土館（郷土館）、五日市図書館、五日市センター、五日市地域交流センター、五日市会館、五日市保健センターの保健相談センター以外の機能等を１拠点に集約化・複合化・多機能化					・再編するまでの間、施設の老朽化や定期的な点検・診断結果に基づき、実施する。				
⑨計画実行のスケジュール	想定実施年度	想定対策内容				想定実施年度	想定対策内容			
	令和８年度以降	・再編等の方向性に沿った具体的手法の検討				令和８年度以降	・未定 （再編等の方向性に沿った具体的手法による）			
⑩計画実行に当たっての留意事項	・二宮考古館・五日市郷土館（郷土館）、五日市図書館、五日市センター、五日市地域交流センター、五日市会館、五日市保健センターの保健相談センター以外の機能を集約化・複合化・多機能化する位置は、「現五日市地域交流センター、現五日市会館及び現五日市保健センターの敷地」を想定 ・市役所五日市出張所の機能は、現状維持しながら、五日市地域交流センターなどの施設全体の再編等に合わせ、位置を検討 ・集約化・複合化・多機能化する施設は、現在の建物の活用・転用、新たな建物の整備を想定 ・五日市センターの建物は、廃止する予定					－				
⑪計画実行後の課題	－					－				

■再編等に関する実施計画

令和7年12月

施設棟番号	B－１４		所管部署		市民部		五日市出張所		市民総合窓口係	
施設分類	大分類	市民文化施設		中分類	集会施設		小分類	その他会館		
施設名称	五日市会館									
所在地	あきる野市五日市４１２						敷地面積(㎡)		３，２１８．９１	
延床面積（㎡）	１，０６７．８		構造		ＳＲＣ造		建築年度	昭和３４	経過年度	６６

計画期間	令和8(2026)年度～令和17(2035)年度	
①事業の概要	設置根拠：あきる野市五日市会館条例 設置目的：福祉の増進と社会教育の振興を図り、市民の生活文化の向上に寄与するため 対象者：あきる野市民等 サービスの概要：式典、発表会、講演会などに使用できるホール、控え室の提供	
②事業の現状	・社会教育関係団体等のイベントや各種団体の定期的な活動拠点として使用されている。 ・毎週、定期的に使用する団体はあるものの、令和6年度の施設の利用率は15.4%であり、過去5年の平均使用率も20%に届かない状況となっている。 ・建築後66年を経過しており、老朽化が進んでいる。耐震化の補強工事は実施済みであるが、照明設備、空調設備等も含め施設の維持管理が困難となってきた。	
③将来的な事業のあり方(方向性)	・隣接して、五日市地域交流センターと五日市保健センターが位置しており、いずれも老朽化が進んでいる。また、五日市地域交流センターとは、施設の設置目的及び使用する団体が類似しており、使用率も低いことから、将来的には新たな複合施設を整備するなど、合理化を検討する必要がある。	
④事業の課題	・五日市会館は、旧五日市町において「町民集会場」として様々な式典やイベント会場として使用されてきた経緯があり、愛着を持つ市民がいると考えられるため、施設再編に当たっては、地域住民の意見等に配慮する必要がある。	

⑤個別施設計画における施設の再編等の方向性（令和3年6月時点）	再編等の方向性	移転・規模縮小・集約化／規模縮小・複合化（新建物）							
	保全の方向性及び実施時期の目安	大規模改修	平成18	建替え又は長寿命化改修	令和8	長寿命化後の建替え	—	（参考）建替え時築年数	67
⑥再編モデル案検討のための施設特性整理	利用対象	市民一般			備考	・市内の社会教育関係団体等のイベントや各種団体の定期的な活動拠点として使用されている。市民以外の使用も可能			
	需要傾向	利用需要変化なし				・年度により増減はあるものの、全体的には減少傾向である。新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いた後は、増加傾向に転じているものの、コロナ禍前の使用水準には及んでいない。			
	規模適正度	規模適正				・小規模のコミュニティ団体等も使用しているが、自治会や小・中学校の式典等の会場として使用されていることもあり、規模は適性である。			
	建物活用	多目的利用検討可能		×		・近隣にある類似施設に集約化させた整備の検討が必要である。			
		複合化・集約化によるサービス水準の向上が期待される		○					
		設置目的と異なる使用状況あり		×					
		単独機能での建物利用が望ましい		×					
		賃貸借物件での運営も可能（市有物件での運営は必須ではない）		○					
		投票所機能		×					
		避難所機能		○					
	敷地所有	一部借地（有償）							
	都市計画法規制	市街化区域				・用途地域：第一種中高層住居専用地域			
	利用圏域	広域（複数自治体）				・全国からの参加者で開催される日本山岳耐久レースのゴール地点となっている。また、過去にはあきる野映画祭（旧五日市映画祭）の会場としても使用していた実績がある。			
	広域化可能性	検討可能				・隣接自治体との連携は可能と考える。			
機能重複度	利用圏域に同種・類似施設がある（民間施設）		×	・類似施設として、隣接している小・中学校の体育館があるが、舞台がないため式典等は当会館を使用している。また、使用者相当分の駐車スペースがある施設は少ない。					
	利用圏域に同種・類似施設がある（国・都・市施設）		○						
	利用圏域に同種・類似施設はない		×						
⑦施策との関連性	関連施策	—							
	説明	—							
⑧再編等の方向性及び修繕・改修等の考え方	【方向性】				（同時に行う対応）				
	規模縮小・複合化				—				
	【再編方針】				【修繕・改修】				
	・規模縮小し、二宮考古館・五日市郷土館（郷土館）、五日市図書館、五日市センター、五日市地域交流センター、五日市会館、五日市保健センターの保健相談センター以外の機能等を1拠点に集約化・複合化・多機能化				・再編するまでの間、施設の老朽化や定期的な点検・診断結果に基づき、実施する。				
⑨計画実行のスケジュール	想定実施年度	想定対策内容			想定実施年度	想定対策内容			
	令和8年度以降	・再編等の方向性に沿った具体的手法の検討			令和8年度以降	・未定（再編等の方向性に沿った具体的手法による）			
⑩計画実行に当たっての留意事項	・二宮考古館・五日市郷土館（郷土館）、五日市図書館、五日市センター、五日市地域交流センター、五日市会館、五日市保健センターの保健相談センター以外の機能を集約化・複合化・多機能化する位置は、「現五日市地域交流センター、現五日市会館及び現五日市保健センターの敷地」を想定 ・市役所五日市出張所の機能は、現状維持しながら、五日市地域交流センターなどの施設全体の再編等に合わせ、位置を検討 ・集約化・複合化・多機能化する施設は、現在の建物の活用・転用、新たな建物の整備を想定				—				
⑪計画実行後の課題	—				—				

## ■再編等に関する実施計画

令和7年12月

施設棟番号	B－１６		所管部署	市民部	五日市出張所	市民総合窓口係	
施設分類	大分類	市民文化系施設	中分類	集会施設	小分類	その他会館	
施設名称	五日市地域交流センター						
所在地	あきる野市五日市４１１				敷地面積(㎡)		3, 9 5 5. 7 9
延床面積 (㎡)	2, 1 9 6. 5 3	構造		ＲＣ造	建築年度	昭和５８	経過年度 ４２

計画期間	令和8（2026）年度～令和17（2035）年度
①事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置根拠：あきる野市地域交流センターの設置及び管理に関する条例</li> <li>・設置目的：あきる野市におけるコミュニティ活動及び社会教育活動の拠点として市民の交流を推進し、地域の活性化を図るため</li> <li>・対象者：あきる野市民等</li> <li>・サービスの概要：式典、発表会、講演会などに使用できるホールの提供及び自治会活動及び趣味やサークルの活動などに使用できる会議室等の提供</li> </ul>
②事業の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議室、研修室及びホールの貸出し施設となっており、毎週、定期的に使用する団体はあるものの、令和6年度の使用率は約25%となっている。また、過去5年の平均使用率は、約20%となっている。</li> <li>・主催事業はなく、貸出し施設となっている。</li> </ul>
③将来的な事業のあり方（方向性）	<p>隣接して五日市会館と五日市保健センターが位置しており、いずれも老朽化が進んでいる。また、五日市地域交流センターと施設の設置目的及び使用する団体が類似しており、使用率も低いことから、将来的には新たな複合施設を整備するなど、合理化を検討する必要がある。</p>
④事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五日市地域交流センターは建築後42年を経過しているが、現時点で、建物の強度的に問題はないと考えられる。空調システム、消防システム、給排水等の設備が老朽化しており、それらを交換するには大規模な改修工事が必要となる可能性がある。</li> <li>・壁及び床の亀裂や汚れが目立つようになっている。</li> <li>・施設の再編については、利用者や地域住民の理解が必要となる。</li> </ul>

⑤個別施設計画における施設の再編等の方向性（令和3年6月時点）	再編等の方向性	集約化								
	保全の方向性及び実施時期の目安	大規模改修	平成13	建替え 又は 長寿命化改修	令和25	長寿命化後の建替え	—	(参考)建替え時 築年数	80	
⑥再編モデル案検討のための施設特性整理	利用対象	市民一般			備考	・市内の自治会や趣味サークル等での利用が多いが、市外団体でも利用可能である。				
	需要傾向	利用需要変化なし				・緩やかな減少傾向をたどりながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から、一旦大きく減少したが、コロナ禍後は増加に転じており、施設全体の使用状況は、コロナ禍前の水準に戻りつつある。				
	規模適正度	規模適正				・時間帯によって余剰スペースがあるが、定期的団体等が恒常的に使用するため、規模は適正である。				
	建物活用	多目的利用検討可能				○	・同地区にある類似施設を含めた複合施設を再編(建替)し、行政サービスの向上を図る。			
		複合化・集約化によるサービス水準の向上が期待される				○				
		設置目的と異なる使用状況あり				○				
		単独機能での建物利用が望ましい				×				
		賃貸借物件での運営も可能（市有物件での運営は必須ではない）				○				
		投票所機能				○				
	避難所機能			○						
	敷地所有	一部借地（有償）								
	都市計画法規制	市街化区域				・用途地域：第1種中高層住居専用地域				
	利用圏域	広域（複数自治体）				・市民総合窓口係の主な利用者は、市内の西側地区の住民だが、貸出し施設は市内のコミュニティ団体も多く利用しており、ホールは市内外からの利用がある。				
広域化可能性	検討可能			・隣接自治体（檜原村）との連携は可能と考える。						
機能重複度	利用圏域に同種・類似施設がある（民間施設）			×	・近隣に類似施設はあるが、地域で交流する場を確保するために必要な施設である。					
	利用圏域に同種・類似施設がある（国・都・市施設）			○						
	利用圏域に同種・類似施設はない			○						
⑦施策との関連性	関連施策	—								
	説明	—								
⑧再編等の方向性及び修繕・改修等の考え方	【方向性】				(同時に行う対応)					
	集約化				複合化・多機能化					
	【再編方針】				【修繕・改修】					
	・二宮考古館・五日市郷土館（郷土館）、五日市図書館、五日市センター、五日市地域交流センター、五日市会館、五日市保健センターの保健相談センター以外の機能等を1拠点に集約化・複合化・多機能化				・再編するまでの間、施設の老朽化や定期的な点検・診断結果に基づき、実施する。					
⑨計画実行のスケジュール	想定実施年度	想定対策内容			想定実施年度	想定対策内容				
	令和8年度以降	・再編等の方向性に沿った具体的手法の検討			令和8年度以降	・未定 （再編等の方向性に沿った具体的手法による）				
⑩計画実行に当たっての留意事項	・二宮考古館・五日市郷土館（郷土館）、五日市図書館、五日市センター、五日市地域交流センター、五日市会館、五日市保健センターの保健相談センター以外の機能を集約化・複合化・多機能化する位置は、「現五日市地域交流センター、現五日市会館及び現五日市保健センターの敷地」を想定 ・市役所五日市出張所の機能は、現状維持しながら、五日市地域交流センターなどの施設全体の再編等に合わせ、位置を検討 ・集約化・複合化・多機能化する施設は、現在の建物の活用・転用、新たな建物の整備を想定				—					
⑪計画実行後の課題	—				—					

■再編等に関する実施計画

令和7年12月

施設棟番号	G-8		所管部署	市民部	五日市出張所	市民総合窓口係
施設分類	大分類	保健・福祉施設	中分類	保健福祉施設	小分類	
施設名称	五日市保健センター					
所在地	あきる野市五日市414-5				敷地面積(㎡)	1,015.39
延床面積(㎡)	720		構造	RC造	建築年度	平成元
					経過年度	36

計画期間	令和8(2026)年度～令和17(2035)年度
①事業の概要	設置根拠：あきる野市保健相談センターの設置及び管理に関する条例 設置目的：市民の健康と保健衛生の向上を図るため 対象者：あきる野市民等 サービスの概要：講習会や調理実習等に使用できる栄養相談室の提供 健康相談、健康診査、健康増進等の講習・研修会及び予防接種の実施 一般市民への施設の貸出し
②事業の現状	・栄養相談室の貸出し状況は、令和6年度は22件であり、過去5年の平均は約13回となっている。 ・保健相談センターにおける母子保健事業は、月1回の育児相談である。 ・2階講義室、会議室等は、放課後児童健全育成事業「五日市学童クラブ」として使用しており、学童クラブ条例で名称及び位置が規定されている。1階事務室2か所は、「子育てひろばいつかいち」として使用されている。
③将来的な事業のあり方(方向性)	・本来の設置目的以外で恒常的に使用されている状況があり、保健相談センター機能は、事業の一部として実施している状況である。保健相談センターとして実施する事業は、五日市地域交流センターや町内会自治会の会館等で実施可能（既に実施している事業もある）であり、施設の在り方を見直す必要がある。 ※市民総合窓口係は施設管理のみを行っている。
④事業の課題	・保健相談センターとして設置しているため、用途変更などを行う場合、配慮が必要である。

⑤個別施設計画における施設の再編等の方向性 (令和3年6月時点)	再編等の方向性	移転・規模縮小・集約化・複合化							
	保全の方向性及び実施時期の目安	大規模改修	令和10	建替え 又は 長寿寿命化改修	令和31	長寿寿命化後の建替え	—	(参考)建替え時 築年数	60
⑥再編モデル案検討のための施設特性整理	利用対象	市民一般			備考	・栄養相談室を貸出し施設としている。1階の一部は子育てひろば、2階の一部は学童クラブとして使用している。			
	需要傾向	利用需要変化なし				・学童クラブ及び子育て支援事業に恒常的に使用されており、需要に変化はない。			
	規模適正度	規模適正				・恒常的に使用されているため、規模は適正である。			
	建物活用	多目的利用検討可能		○		・保健相談センターとしての機能は少ないことから、施設の在り方を検討する必要がある。			
		複合化・集約化によるサービス水準の向上が期待される		○					
		設置目的と異なる使用状況あり		○					
		単独機能での建物利用が望ましい		○					
		賃貸借物件での運営も可能(市有物件での運営は必須ではない)		×					
		投票所機能		○					
		避難所機能		×					
	敷地所有	市有地							
	都市計画法規制	市街化区域				・用途地域：第一種中高層住居専用地域			
	利用圏域	その他				・日常生活圏域			
	広域化可能性	検討不可				・市の事業に使用すべきと考える。			
機能重複度	利用圏域に同種・類似施設がある(民間施設)		×	・現状の施設利用形態を踏まえ、所管替えや施設の集約化を検討する。					
	利用圏域に同種・類似施設がある(国・都・市施設)		×						
	利用圏域に同種・類似施設はない		○						
⑦施策との関連性	関連施策	—							
	説明	—							
⑧再編等の方向性及び修繕・改修等の考え方	【方向性】 移転・規模縮小・集約化・複合化				(同時に行う対応) —				
	【再編方針】 ・五日市保健センターの保健相談センター機能は、秋川健康会館とあきる野保健相談所等を集約化・複合化した施設に集約化する。 ・規模縮小し、二宮考古館・五日市郷土館(郷土館)、五日市図書館、五日市センター、五日市地域交流センター、五日市会館、五日市保健センターの保健相談センター以外の機能等を1拠点に集約化・複合化・多機能化				【修繕・改修】 ・再編するまでの間、施設の老朽化や定期的な点検・診断結果に基づき、実施する。				
⑨計画実行のスケジュール	想定実施年度	想定対策内容			想定実施年度	想定対策内容			
	令和8年度以降	・再編等の方向性に沿った具体的手法の検討			令和8年度以降	・未定 (再編等の方向性に沿った具体的手法による)			
⑩計画実行に当たっての留意事項	・二宮考古館・五日市郷土館(郷土館)、五日市図書館、五日市センター、五日市地域交流センター、五日市会館、五日市保健センターの保健相談センター以外の機能を集約化・複合化・多機能化する位置は、「現五日市地域交流センター、現五日市会館及び現五日市保健センターの敷地」を想定 ・市役所五日市出張所の機能は、現状維持しながら、五日市地域交流センターなどの施設全体の再編等に合わせ、位置を検討 ・集約化・複合化・多機能化する施設は、現在の建物の活用・転用、新たな建物の整備を想定				—				
⑪計画実行後の課題	—				—				